

2019年5月14日

心理職インターンシップ受入開始について

～産業保健領域における心理職の役割体験の場を提供～

SOMPOヘルスサポート株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：角 秀洋、以下「SOMPOヘルスサポート」）は、産業保健領域で活躍する次世代の心理職を育成するため、産業保健現場を体験できるインターンシップを開始します。

1. 背景

労働力不足が課題となる日本において、労働生産性を高めることが企業の喫緊の課題であることから「働き方改革」に取り組む企業が増加しています。労働生産性向上の取組によって、労働者個人の精神的な健康の保持・増進のみならず、組織の活性化に向けた取組もますます加速するものと考えられます。

そうした中、2017年9月に公認心理師法が施行され、日本初の心理職の国家資格として「公認心理師」が誕生しました。科学的なエビデンスを駆使して個人と組織の両面にソリューションを提供できるのが心理職であり、産業保健分野の中でも活躍が期待されています。

一方、心理職を目指す学生にとって産業保健は決して身近なものとは言えず、実務経験を積む機会が少ないことから、就業の場としてミスマッチが生じています。

SOMPOヘルスサポートでは当社専門職であるOMC^(*)が、個人・組織両面からご契約企業の産業保健活動をサポートして参りました。また従来からチームアプローチを標榜し、心理職のみならず、医療職、福祉職、コンサルタントなど、多職種連携による課題解決に努めています。

そうした人材や長年にわたる事業を通じて培ってきたノウハウを活かし、次世代の産業保健領域で活躍する心理職育成に寄与するため、現場体験の機会提供となるインターンシップを開始する事としました。

*1 産業保健メンタルヘルス・コーディネーター（Occupational Mental Health Coordinator）

産業保健におけるメンタルヘルス支援に精通した看護師・保健師・臨床心理士・精神保健福祉士・公認心理師等の有資格者

2. インターンシップの特徴

(1) 特徴

- ・ 産業保健領域に携わる仕事に間近で接することにより、産業医や産業保健専門職・コンサルタント等との連携など積極的な動き方のイメージを持つことが出来ます。
- ・ 実践的なロールプレイングを通じて産業保健領域における心理職の役割を体験的に学べます。
- ・ 産業保健領域で必要な知識について、グループディスカッション等で、事例に則した対処方法を検討し、専門職からのコメントを通して理解を深めます。

(2) 期間

2019年4月より1年間^(*2) (週1回)

*2 第1期生受入を2019年4月より開始。第2期生以降も毎年受入予定

3. 今後の展開

労働力不足が顕在化するとともに、労働生産性の向上が求められる中で、産業保健分野において、職場のメンタルヘルス対策に関わる企業のニーズは増大しています。当社は、これらに対する様々なソリューションサービスを引き続き開発・提供してまいります。産業保健分野で重要な役割を果たすことがより一層期待される心理職に対して、当社が現場体験の場を提供することによって、より多くの心理職が早期に活躍できるよう継続して支援してまいります。

以上